

LOD を利用した放送コンテンツアーカイブ  
のためのメタアーカイブの構築  
A Meta-Archive for Broadcasting Programs  
Based on Linked Open Data

学籍番号：201321646

氏名：萩原 和樹

Kazuki HAGIWARA

近年、テレビで放送された番組の映像・音声をアーカイブし、公開する試みがなされている。国内でも日本放送協会（NHK）が World Wide Web（WWW）上で映像や音声を公開する「NHK デジタルアーカイブス」が、我国の代表的な放送コンテンツのアーカイブである。WWW 上で公開される放送コンテンツアーカイブが増えるにつれて、デジタルアーカイブ同士を連携させて、コンテンツの利用性を高めることが求められる。デジタルアーカイブの連携とは、Europeana に代表されるように、複数のアーカイブから所蔵資料のメタデータを収集及び規則を統一し、アーカイブ間を横断した関連付けを行うことで関連資料の統合検索を可能にするものである。

本研究では、複数の放送コンテンツアーカイブの連携を目的とした、メタアーカイブシステムの構築と、連携アーカイブ間での統合検索を可能にするためのメタデータモデルを Linked Open Data を用いて定義した。アーカイブの独自性を残すためにメタデータ項目を保持しつつ、適切なメタデータ語彙を用いて RDF 化することでメタデータ記述規則を統一した。リンク利用することで放送コンテンツに共通する情報であるテレビ番組情報とキーワードなどの主題情報を分析、記述することで異なるアーカイブのコンテンツ同士をリンクすることも可能にした。また、DBpedia や NDLSH といった他 LOD リソースとのリンクを図ることで放送コンテンツと関連情報との紐付けも行った。

本研究では、「NHK デジタルアーカイブス」に含まれる 6 つの放送コンテンツアーカイブを対象にしてメタアーカイブシステムの構築を行った。収集した放送コンテンツの件数は 10,851 件、作成したトリプル数は 177,522 件となった。このシステムにより、統合検索が可能であることを実証した。一方、メタデータの作成の際に提案したメタデータモデルだけでは記述できない構造やテレビ番組情報の不足により連携が困難なパターンを発見した。今後、他のアーカイブを対象にメタアーカイブの構築を行い、手法をより一般化することと詳細な番組情報の整備が求められる。

研究指導教員：杉本 重雄

副研究指導教員：永森 光晴